

第17回 河川整備基金助成事業 成果発表会

お申し込み方法

参加申込票に

1. 氏名
2. 所属
3. TEL/FAX 番号

を明記の上、郵送または FAX、E-mail にて

(財)河川環境管理財団 研究第一部

担当者：矢野 恭治 清水 俊夫

E-mail : kikin-toi@kasen.or.jp

までお知らせください。

お申し込み・お問合せ先

(財)河川環境管理財団 研究第一部

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 11-9

住友生命日本橋小伝馬町ビル 2F

TEL: 03-5847-8303

FAX: 03-5847-8309

会場案内図

発明会館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-9-14

TEL: 03-3502-5499

FAX: 03-3595-2763

URL: <http://hatsumeikaikan.com/>



交通：地下鉄銀座線「虎ノ門」駅出口 徒歩 5 分
地下鉄「霞ヶ関」駅 A13 番出口 徒歩 13 分



日時：2010年 10月27日(水) ●受付開始 12:30 ●開会 13:00

2010年 10月28日(木) ●受付開始 9:00 ●開会 9:30

場所：発明会館 (東京都港区虎ノ門 2-9-14)

定員：260名

参加費：無料

主催：(財)河川環境管理財団

この「第17回河川整備基金助成事業成果発表会」は「土木学会 CPD プログラム」として認定されています。



第1日目 2010年10月27日(水)

受付開始 12:30 開会 13:00

開会の辞 13:00~13:20

1 水環境に関する調査・研究 13:20~15:30 (座長：東京農工大学・大学院 工学研究院 教授 細見 正明)

- 座長総括説明
- 発表

- 1) 三河湾湾奥への非特定汚染源からの降雨時栄養塩流出負荷特性
豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 教授 井上 隆信
- 2) 担体による都市河川の藻類抑制技術
独立行政法人 土木研究所 主任研究員
(現)滋賀県琵琶湖環境部下水道課 主席参事 岡安 祐司
- 3) 河川及び湖沼の水圏生態系における
紫外線吸収剤の汚染状況と食物網内の生物蓄積性に関する研究
埼玉県環境科学国際センター 主任 亀田 豊
- 4) 河川流域における医薬品類の存在実態とその水生生物に対する影響評価
京都大学大学院 工学研究科 講師 山下 尚之

◆ 休憩 15:30~15:40

2 川の生態環境に関する調査・研究 15:40~17:50 (座長：大阪府立大学大学院 理学系研究科 教授 谷田 一三)

- 座長総括説明
- 発表

- 1) カワウによる流域森林の衰退に対する保全管理方策の検討
滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員 亀田 佳代子
- 2) 暖温帯における河畔林構成樹木の分布特性の解明と河畔林自然再生手法の検討
(独)森林総合研究所 植物生態研究領域 非常勤特別研究員 比嘉 基紀
- 3) アユの生息場保全と治水効果を考慮した川づくりの提案
九州工業大学大学院 准教授 鬼束 幸樹
- 4) 底生生物の生息基盤となる干潟微小環境の修復法の開発に関する研究
特定非営利活動法人 日本国際湿地保全連合(WIJ) 会長 辻井 達一
【発表者】茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター 助教 加納 光樹

第2日目 2010年10月28日(木)

受付開始 9:00 開会 9:30

3 防災・危機管理・市民連携など川と地域社会の係わりに関する調査・研究 9:30~11:40 (座長：(財)河川環境管理財団 北海道研究所長 研究顧問 黒木 幹男)

- 座長総括説明
- 発表

- 1) ダムの洪水調節機能向上を目指した降雨・融雪予測情報の活用について
室蘭工業大学大学院 工学研究科 准教授 中津川 誠
- 2) 侵食により破壊される樹林帯と安定樹林帯の分類に基づく流木発生・捕捉指標に関する研究
埼玉大学大学院 理工学研究科 教授 田中 規夫
- 3) 「市民との協働」を通じた環境用水の創出とその利活用に関する事業モデル構築の研究
滋賀県立大学 教授 秋山 道雄
- 4) 佐賀平野東部における「流域治水」の発掘と復元に関する研究
佐賀大学 客員研究員 岸原 信義

◆ 昼食 11:40~12:40

4 指定課題助成研究・重点的課題助成研究 12:40~15:10 (座長：(財)河川環境管理財団 河川環境総合研究所長 山本 晃一)

- 座長総括説明
- 発表

- 1) エスノグラフィ調査にもとづく豪雨災害対応プロセスの体系化と
適切な対応行動学習のための自治体職員・住民向け研修プログラムの構築
富士常葉大学大学院 環境防災研究科 教授 重川 希志依
- 2) 渇水被害軽減のための河川水利用の有効な管理手法に関する事例的研究
愛媛大学大学院 理工学研究科 教授
(現)独立行政法人 国立高等専門学校機構 新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一
【発表者】愛媛大学大学院 理工学研究科 准教授 門田 章宏
- 3) 外来植物による河川敷の藪化、樹林化への管理手法の開発
埼玉大学大学院 理工学研究科 教授 佐々木 寧
- 4) 河川堤防の安全照査のための浸透・越流時の河川堤防の大変形解析法とその応用
京都大学大学院 工学研究科 教授 岡 二三生

◆ 休憩 15:10~15:20

5 海外緊急水害調査 15:20~16:40

- 報告

- 1) 台風8号により発生した台湾における土砂災害に関する調査・研究
(社)砂防学会)新潟大学農学部 生産環境科学科 准教授 権田 豊
- 2) フィリピン水害に関する調査・研究
(社)土木学会)首都大学東京 大学院 都市環境科学研究科 教授 河村 明

閉会の辞 16:40~16:50

FAX 03-5847-8309

TEL 03-5847-8303

(財) 河川環境管理財団 研究第一部 橋本・松浦 行

参加者確認票

第17回 河川整備基金助成事業成果発表会

(平成22年10月27、28日開催、於 発明会館)

参加予定者は、下記に記入の上、10月20日(水)までに事務局(橋本・松浦)までFAXにてお知らせ下さい。

| |
|-------------------|
| 【発信者】 |
| (所属) |
| |
| (氏名) |
| |
| TEL () : FAX () |

| 参加者 | 出席確認 |
|-----------|------|
| (所属) | 27日 |
| | |
| (役職) (氏名) | 28日 |
| | |
| (所属) | 27日 |
| | |
| (役職) (氏名) | 28日 |
| | |
| (所属) | 27日 |
| | |
| (役職) (氏名) | 28日 |
| | |

* 1 : 出席確認欄に出席の場合は“○”、欠席の場合は“×”を記入して下さい。

* 2 : 4名以上となる場合はこの用紙をコピーして使用して下さい